

# サービスエリア拡大

## セイコー運輸

### 高齢者むけ引越

2003年にスタートしたシルバー住むぶは、要介護の高齢者が老人ホームや介護施設へ入居する際の引越サービス。引越準備や荷物の移動、荷解きだけでなく、不用品、家財道具、遺品の処分、部屋の掃除なども請け負う。

シルバー住むぶでは、営業先に要介護の高齢者を受け入れる介護施設に選

### 全国展開を視野、パートナー募る

【大阪】セイコー運輸(宮高専社長、大阪市住之江区)は、高齢者向け引越サービス「シルバー住むぶ」と時間課金制トラックレンタルサービス「タイムレンタル住むぶ」のサービスエリア拡大に力を入れている。3日には豊田運送(豊田敦子社長、東京都板橋区)と両サービスの商標使用許諾契約を締結。今後は全国展開も視野に入れ、パートナー企業を募っていく考えだ。

笑顔で握手を交わす宮高専事務(右)と豊田運送の豊田社長



定。介護施設のスタッフが分かりやすいよう、サービス内容を具体的に記載した作業事例集を使ったりなど

新しい顧客層を開拓するため、10月6日からドライパー1人とトラックを時間単位でレンタルするサービス「タイムレンタル住むぶ」も開始。顧客ターゲットは芸術家や音楽活動をして

して独特の営業を行う。「要介護の高齢者は、どの程度動けるのか、どのような介護が必要かを把握することが必要(宮高専専務)との考えから、宮高専がホームヘルパー2級の資格を取得。ホームヘルパーが引越屋として、よりきめ細かいサービスを提供できる体制を整え、年々受注件数を増やしてきた。

## 11年は「変化への挑戦」

### シンワアクティブ 積極的な営業展開

【大阪】シンワ・アクティブ(吉本英雄社長、大阪府津市)は9日、創立記念式典を開き、2011年の基本方針として「変化への挑戦-The challenge of change」を発表した。積極的な営業展開や荷主企業からの要望、業界環境の変化に対する対応能力を身に付けること、創造力も発揮し、事業基盤の安定維持を図る考え。

吉本社長は「昨年は共配センター開設や新規の取引開始といった出来事があった1年だった。これは拠点見直しもあり、大きな転



換期を迎える。生産性と品質の向上、5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)の徹底、効率化にも取り組み、荷主企業の要望に応えていく」と強調。

その上で、「来年は創立40周年と節目の年。物流業は、寺西の付加価値

## 「社会と共生」安全活動に努力

### 大ト協 関係団体の重点施策に指針

【大阪】大阪府トラック協会(坂本克己会長)は6日、関連6団体と合同の役員・委員年賀交歓会を開き、それぞれの立場から社会と共生するための安全活動に努めるよう呼び掛けた。

坂本会長が「アフレ、円高で経済活動は順調とはいえない。それがわれわれの経営に大きなし掛かっている。正直者が馬鹿をみない、公正な競争が行われなければならない」と述べた。

なればいけない」と、国土交通省を中心に議論が始まった。「こうしたらうだが、こういう考え方がある」との声を、組織を通じて寄せてほしいとあいさつ。関係決定された2011

## 環境問題への対応に注力

### 大阪パレル物流協議会(OAP)の川野信夫会長は7日に開いた賀詞交歓会で、「ことしは相互コミュニケーション強化に向け、ホームページ(HP)の活性化、通い箱やエコキヤップ回収といった環境問題への対応に力を入れていく」と活動方針を示した。

HPは2009年に開設。組織概要や沿革、各部会が行った会議では議事録とともに写真も添付することで、参加できなかった会員にも当日の雰囲気や伝わった情報が共有し、充実させる。通じた情報も、昨年1年



## 野村 めぐみさん

【兵庫】「事業を通じて地域社会に貢献していく」と話すのは、金田運輸の金田運送の野村めぐみさん。市内の女子大に通う傍ら、父親の下でアルバイトを始めた。大学卒業後も自宅で書道やピアノ教室をしながら、パート社員として主に事務を担当していたが、1995年の阪神・淡路大震災をき

## 事業通じ地域に貢献

### より良いサービス提供

働くようになった。その後事務だけでなく配達業務なども担当した。兵庫県内で「エコな運送事業者」として金田運輸と業界関係者が口をそろえるほどの同社だ

学校に頻繁に出入りするトラックを圧縮天然ガス(CNG)車とハイブリッド車に切り替えた。CNG車は発売開始直後に導入したほか、県内の運送事業者として初め

めぐみ氏自身が講師を務めることも、職業体験の場として市内の中学生を受け入れるなど、ボランティア活動にも力を入れた。

「肩書は専務から社長になったが、生まれ育った西宮のために」という気持ちは変わらない。より良い車、より良いサービスを提供し続けたいと力を込める。



「肩書は専務から社長になったが、生まれ育った西宮のために」という気持ちは変わらない。より良い車、より良いサービスを提供し続けたいと力を込める。

## 業界の地位向上が旗印

### Gマーク取得を促進

【滋賀】滋賀県トラック協会(岡田博司会長)は7日、理事会を開いた。岡田会長は会員の増強、安全性優良

得事業者の倍増、交通死亡事故ゼロなどに重点的に取り組む方針を示した。岡田氏は「業界の地位向上を積極的に推進していく」と表明。

このほか、事業振興補助式に基づき、減となった

## 兵ト協 ■エコドライブ運動

アコン・ピーターなどの使用を控える」が78.4%と

転は3分以内を抑える(87.3%)、「停止・発進回数

7%となっている。兵ト協では、評価の達成

図っていく方針だ。